

機械器具 7 内臓機能代用器
特定保守管理医療機器 高度管理医療機器 植込み型補助人工心臓システム 34941000

「植込み型補助人工心臓 HeartMate II」の付属品

（バッグ関連の構成品：ホルスターベスト、モジュールベルト、シャワーバッグ、キャリングバッグ、ドライブライン固定ベルト、トラベルケース）

【警告】

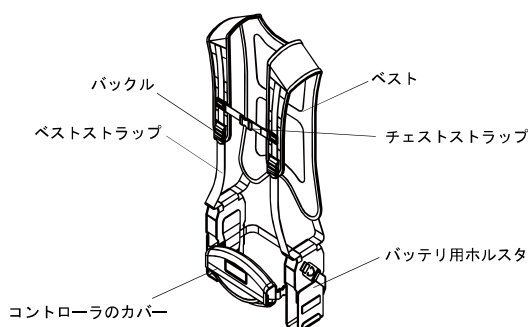
1. 使用方法

- 1) 経皮ドライブラインに物理的負荷（ドアに挟み込む、曲がり、過度のねじれ、圧迫、引張り）をかけたり、動かしたり、汚したりしないこと。〔血液ポンプ停止、創部治癒の遅れ、重い感染症等のおそれがある。〕

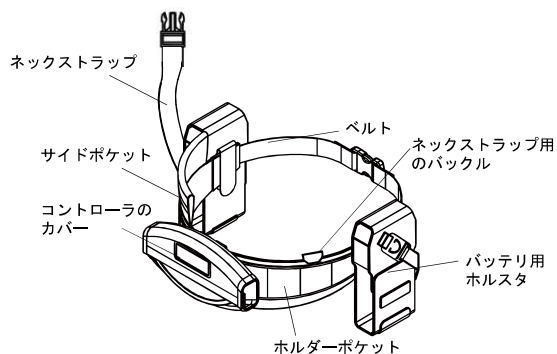
【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

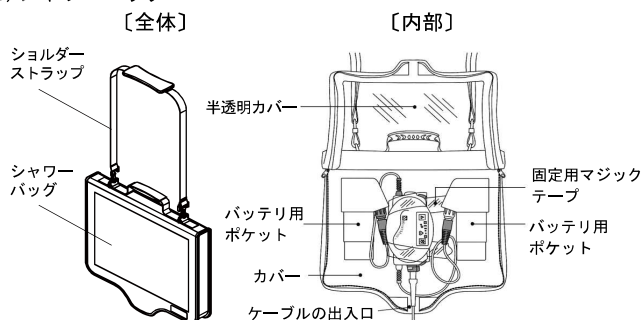
1) ホルスターベスト



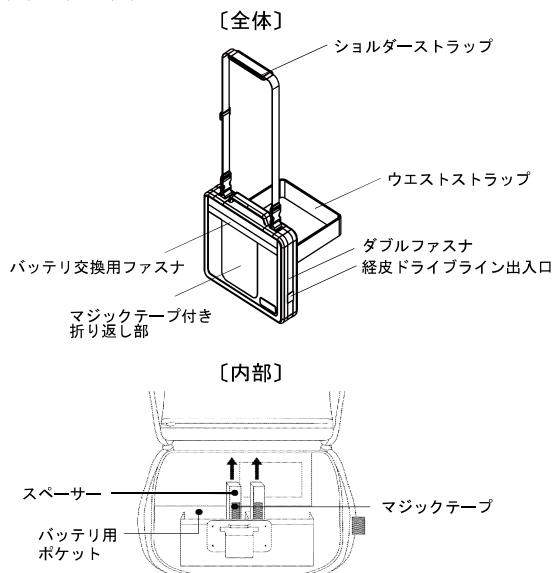
2) モジュールベルト



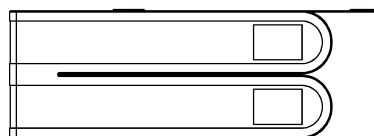
3) シャワーバッグ



4) キャリングバッグ



5) ドライブライン固定ベルト



6) トラベルケース



【使用目的又は効果】

本品は、心臓移植適応の重症心不全患者で、薬物療法や体外式補助人工心臓などの補助循環法によっても継続した代償不全に陥っており、かつ、心臓移植以外には救命が困難と考えられる症例に対して、心臓移植までの循環改善に使用される。

【使用方法等】

詳細な使用方法は取扱説明書等を参照します。

1. 使用方法

1) ホルスターベスト

- (1) 左右のベストストラップをそれぞれ左右のバッテリー用ホルスタの上部の穴と、ホルスターベストのバックルに通します。
- (2) システムコントローラをコントローラのカバー内にクリップで取り付け、ホルスターベストを着着します。
- (3) パワーモジュール駆動からバッテリー駆動へ電源の切り替えを行います。
- (4) 2組のバッテリーとバッテリークリップをバッテリー用ホルスタのポケットに挿入します。バッテリー用ホルスタのバックルで固定し、折り返し部を閉じます。
- (5) マジックテープ付き折り返し部を用いてシステムコントローラの電源ケーブルを固定します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- (6) 使用後は、バッテリー駆動からパワーモジュール駆動へ電源の切り替えを行い、ホルスターベストを脱ぎます。クリップを外し、システムコントローラを取り外します。

2) モジュールベルト

- (1) バッテリー用ホルスタ及びコントローラのカバーをベルトのホルダーポケットに挿入します。
- (2) システムコントローラをコントローラのカバー内にクリップで取り付けます。
- (3) パワーモジュール駆動からバッテリー駆動へ電源の切り替えを行います。
- (4) 2組のバッテリーとバッテリークリップをバッテリー用ホルスタのポケットに挿入します。バッテリー用ホルスタのバックルで固定し、折り返し部を閉じます。
- (5) ネックストラップを首に掛けて、モジュールベルトの重量を支えながら、モジュールベルトを装着します。
- (6) マジックテープ付き折り返し部を用いてシステムコントローラの電源ケーブルを固定します。
- (7) 使用後は、ネックストラップでモジュールベルトの重量を支えながら、モジュールベルトを取り外します。バッテリー、バッテリークリップ及びシステムコントローラをモジュールベルトから取り出し、バッテリー駆動からパワーモジュール駆動へ電源の切り替えを行います。

3) シャワーバッグ

- (1) システムコントローラをシャワーバッグにクリップで取り付け、固定用マジックテープで固定します。全てのコネクタとケーブルをシャワーバッグの内部に入れます。
- (2) バッテリー駆動時の場合は、バッテリー及びバッテリークリップをシャワーバッグの内部に入れます。
- (3) パワーモジュール駆動時の場合は、PMケーブル白色と黒色コネクタ及びケーブルの分岐部（Y字の部分）をシャワーバッグの内部に入れます。パワーモジュールは皮膚貫通部より高い位置に設置します。
- (4) 左右のファスナを締め、シャワーバッグをびったり閉じます。
- (5) シャワーバッグのショルダーストラップを用いて、体の側面、又は前面にぶら下がるように体に掛けます。シャワー浴を行います。
- (6) シャワー浴後は滅菌ガーゼを使用し、皮膚貫通部の水分を拭き取った後、滅菌ガーゼを皮膚貫通部に当てます。シャワーバッグの外側とショルダーストラップの水分を拭き取ります。シャワーバッグは、次回使用するまでに完全に乾燥させます。

4) キャリングバッグ

- (1) ウェストストラップ及びショルダーストラップの長さを調節し、キャリングバッグ内にある2つのスペーサーを取り外します。
- (2) パワーモジュール駆動からバッテリー駆動へ電源の切り替えを行います。
- (3) バッテリーとバッテリークリップをキャリングバッグに入れ、キャリングバッグを装着します。マジックテープ付き折り返し部を用いて経皮ドライブラインを固定します。
- (4) 使用後は、バッテリー、バッテリークリップ及びシステムコントローラをキャリングバッグから取り出し、バッテリー駆動からパワーモジュール駆動へ電源の切り替えを行います。

5) ドライブライン固定ベルト

- (1) 術後すぐに、ドライブライン固定ベルトで経皮ドライブラインを適切な位置に保持して固定します。

6) トラベルケース

- (1) 少なくとも2個の充電済みバッテリー、1個のシステムコントローラをトラベルケース内に入れておきます。
- (2) バッテリーが消耗した際、トラベルケース内より充電済みバッテリーを取り出し、使用します。
- (3) 血液ポンプが停止した際、システムコントローラからアラームが発生します。トラベルケース内よりシステムコントローラを取り出し、使用します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. シャワーバッグは完全に乾燥したものを使用してください。
2. ドライブライン固定ベルトは未滅菌品のため、使用する前に、皮膚貫通部に必ずガーゼを適用してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 患者をうつぶせで寝かせないこと。〔患者の体重により経皮ドライブラインが圧迫され、閉塞や外傷のおそれがある。〕
- 2) 相手との接触が多いコンタクトスポーツ（バスケットボール、ラグビー、サッカーなど）や、飛び跳ねる動作を避けるよう指導すること。〔出血、血液ポンプ故障のおそれがある。〕
- 3) 血液ポンプ植込み中は、患者に水泳、又は入浴をさせないこと。担当医師は、シャワーを浴びられるほど十分に皮膚貫通部が治癒した場合、患者にシャワーを浴びることを許可すること。シャワーを浴びる場合、患者はシャワーバッグを使用し、水の侵入を防ぐこと。〔経皮ドライブラインから血液ポンプに水が入った場合、血液ポンプ停止のおそれがある。〕

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

構成品	温度	湿度	気圧
ホルスターベスト	-20～55℃	20～85%	—
モジュールベルト	-20～55℃	20～85%	—

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

- 1) 正常な機能を維持するため、常に清潔にしておくこと。
- 2) ホルスターベスト、モジュールベルト、シャワーバッグ、キャリングバッグが汚れている場合は、石けんと水を使用して手洗いすること。洗ったら、吊し干して自然乾燥させること。熱を加えて乾燥させないこと。
- 3) ドライブライン固定ベルトは漂白剤の入っていない洗剤を用いて手洗いすること。洗ったら、自然乾燥させること。
- 4) 損傷や摩耗がないか定期的に点検すること。

【承認条件】

1. 関連学会と連携の上、実施施設基準・実施医基準を設け、補助人工心臓植込術に関連する十分な知識・経験を有する医師により、同術の実施体制が整った医療機関において本品が使用されるよう、必要な措置を講ずること。
2. 関連学会と連携の上、本品を使用する症例（継続治療後の症例を含む。）全例を対象として、使用成績調査を行い、長期予後について経年解析結果を医薬品医療機器総合機構宛て報告するとともに、必要に応じ適切な措置を講ずること。
3. 在宅治療への移行が安全かつ円滑に行われるよう、医療従事者、患者及びその介護者に対する講習等を徹底するとともに、十分な支援体制を構築し、安全性の確保に努めること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

選任製造販売業者（お問い合わせ先）
ニプロ株式会社
電話番号：06-6372-2331（代表）

外国特例承認取得者
ソラテックコーポレーション
〔Thoratec Corporation〕
米国
〔U. S. A. 〕

製造業者
ソラテックコーポレーション
〔Thoratec Corporation〕
米国
〔U. S. A. 〕



ニプロ株式会社